

資料2029-レ作1-6

ミリ波センサと応用システム



2010/02/08

日立オートモティブシステムズ株式会社 IAS本部

黒田浩司

Copyright © Hitachi Automotive Systems, Ltd. All rights reserved



ミリ波センサと応用システム



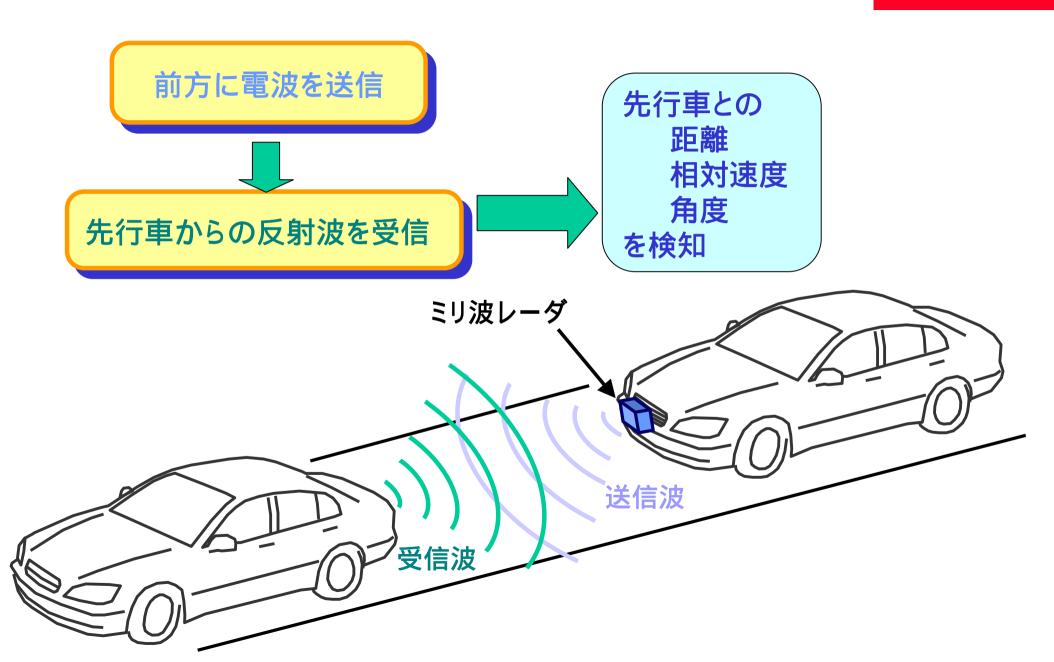
Contents

1.章 各種応用システム

2.章 ミリ波センサ

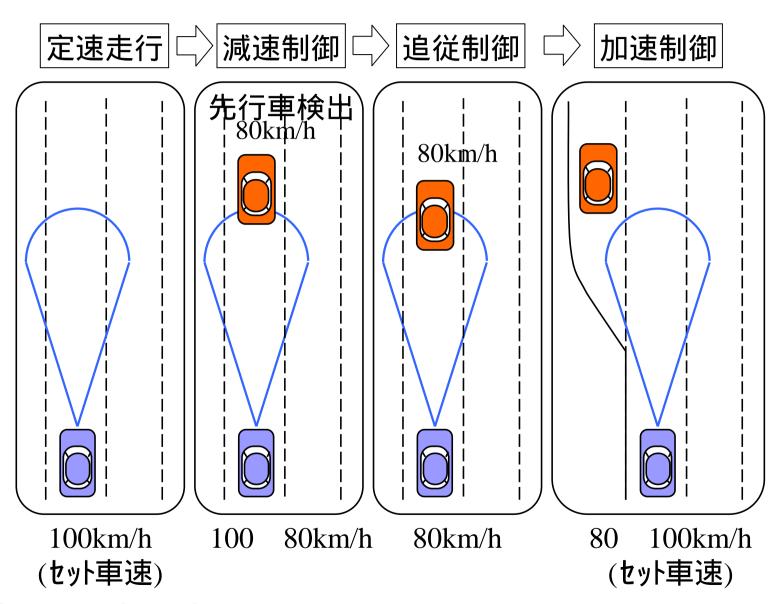
1-1. ミリ波レーダの機能





1-2. 車間距離制御システム(ACC)





ACC: Adaptive Cruise Control

1-3. プリクラッシュブレーキ & プリクラッシュシートベルト



衝突回避不可

衝突が避けられないことを レーダで検知 シートベルトを巻き上げると共に、 自動ブレーキをかける







警報

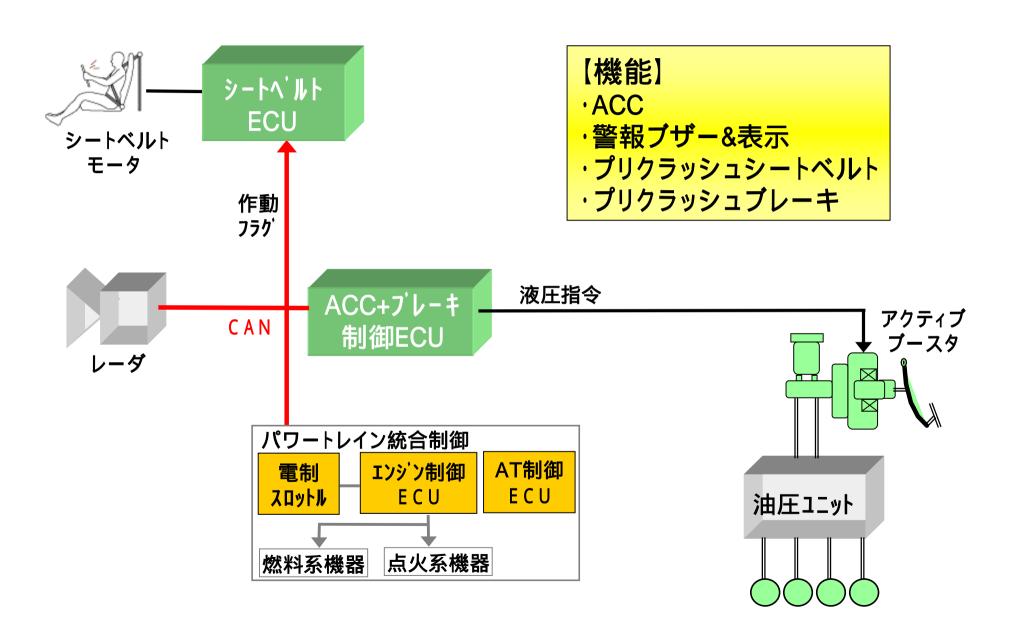
シートベルト

ブレーキ圧

ブザー&表示

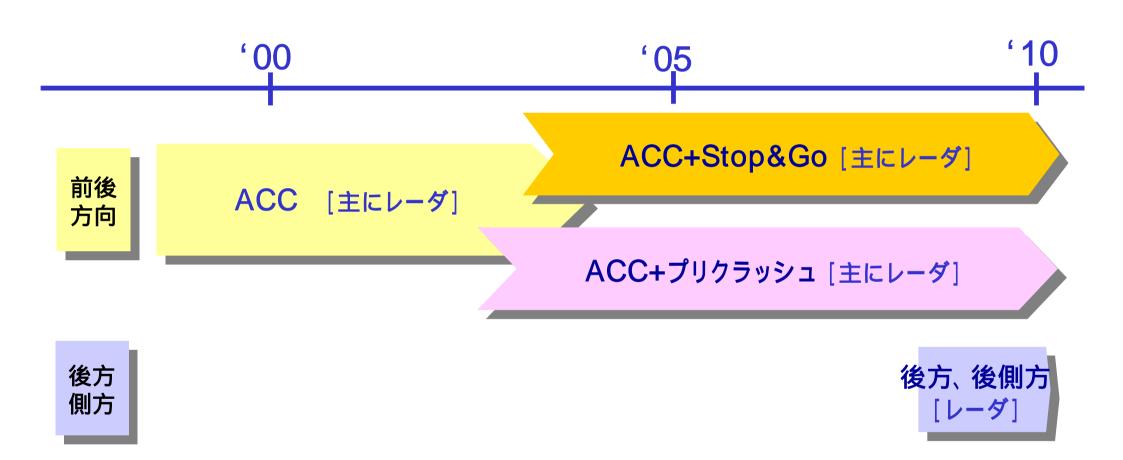
1-4. ACC + プリクラッシュ システムの構成例





1-5. 走行制御システムの製品化動向





ACC: Adaptive Cruise Control

1-6. 各種の環境認識センサ



種類	長所	短所	
ミリ波レーダ	相対速度の直接検出 悪天候、汚れに強い	現時点では高価	
レーザレーダ	比較的安価 空間分解能高い	悪天候、汚れに弱い距離変化で相対速度	
画像センサ	様々な検出対象 小型化可能	認識ロジック複雑 悪天候、汚れに弱い	
超音波センサ	小型、安価 相対速度の直接検出	近距離のみ 風の影響大	

予防安全システム向けには、悪天候に強い電波レーダが適する認識の高度化には、画像センサの活用が有効(フュージョン)



ミリ波センサと応用システム



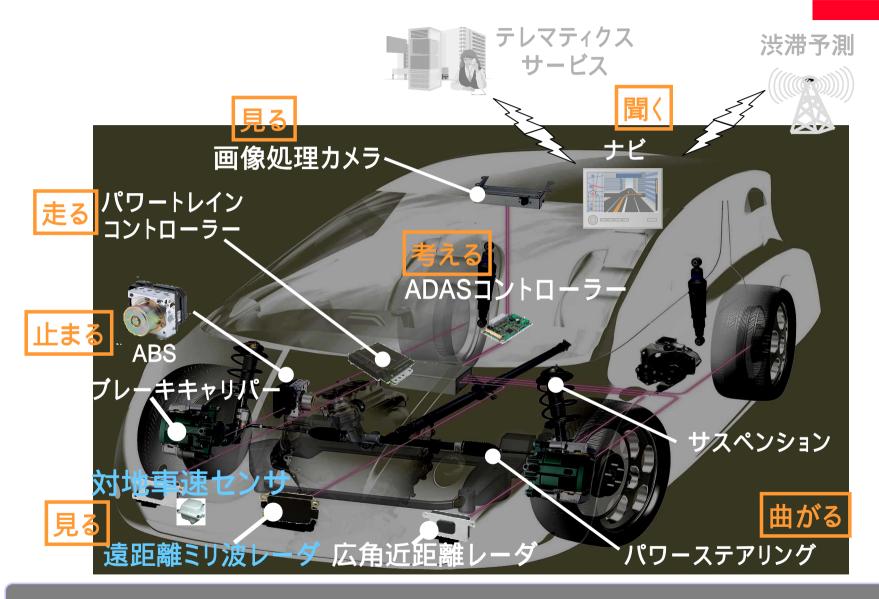
Contents

1.章 各種応用システム

2.章 ミリ波センサ

2-1. 各種センサとITS統合制御への取り組み

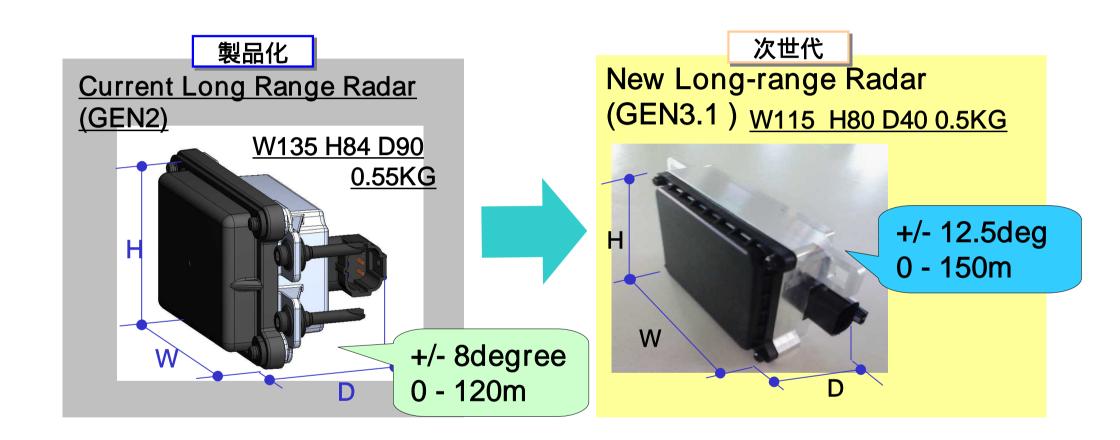




「<mark>聞く」「見る」「曲がる」「止まる」「走る」</mark>の個別コア技術と「考える」の制御技術を 高信頼ネットワーク通信を介して統合 Pollution Free, Hazard Free, Stress Free の実現

2-2.76GHz遠距離レーダー



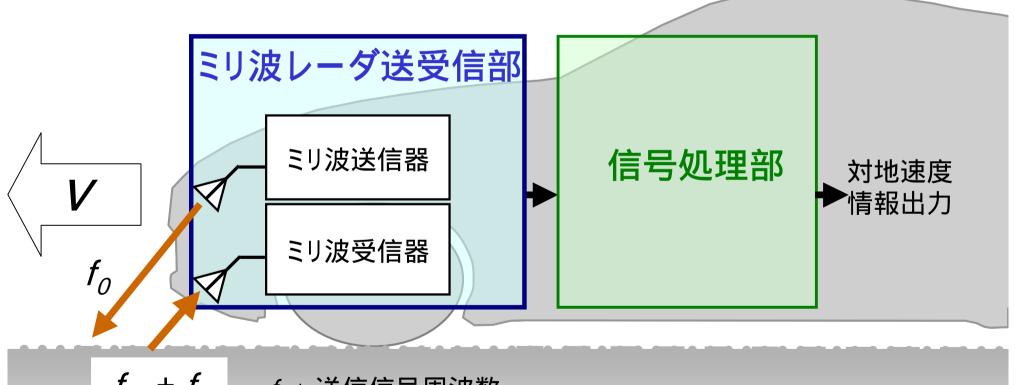


小型化、検知範囲の拡大

2-3. ミリ波対地車速センサ(原理)



- ミリ波帯の電磁波を地面に向けて照射
- 地面-自車間の速度差により生じるドップラーシフト周波数の検出により 車体の対地速度を計測



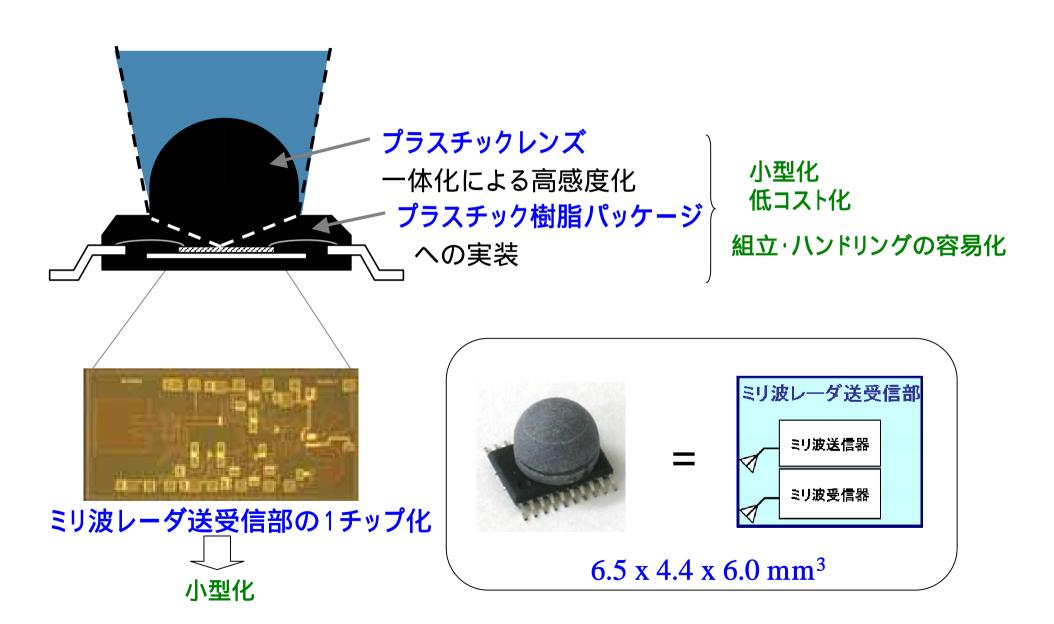
 $f_0 + f_d$ f_o :送信信号周波数

fg:ドップラーシフト周波数

2-4. ミリ波対地車速センサ(ワンチップレーダ)

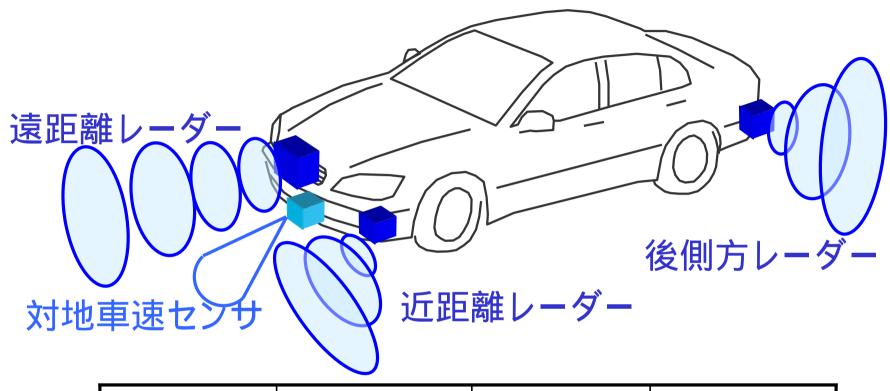


開発中



2-5. 車載環境認識センサ





	24GHz帯UWB	76-77GHz	79GHz帯
高分解能化			
小型化			

79GHz帯への期待

- ·高い分離分解能(20cm以下)の実現
- ・小さな物体を遠くまで検出

帯域幅 4GHz (占有 3GHz) 送信電力 5~10mW

